

01年にSOA製品のリーディングカンパニー、ウェブメソッド(現ソフトウェアAG社)に入社し、リージョナルマネジャーとして世界一の営業成績を達成し、2年連続で日本支社のライセンス売り上げ50%以上に貢献しました」という各務正人社長。

ウェブメソッドの本社がある米国は経済規模で世界一。しかも本社のお膝元はサポートがある中、ローカルの日本で世界一となるのは尋常なことではない。そのため引き続きには2年を要し、各務氏が起業資金を貯めてグローバルウェイを設立したのは04年10月だ。

**ミャンマーでネット事業支援し、さらなる成長を**

「日本よりも雇用の流動性が高い欧米では、就職や転職で失敗しないために、口コミ情報は



働く人のためのプラットフォームと法人向けクラウド型業務アプリ(右)の初期画面

DATA

●コード:3936(東証マザーズ) ●公開価格:2,960円 ●初値:14,000円 ●騰落率:373.0%

●事業内容:ソーシャル・ウェブメディア事業(働く人のための情報プラットフォーム「キャリアコネ」の運営および有料職業紹介サービスの提供)、ビジネス・ウェブアプリケーション事業(クラウド型業務用ソフトウェアのカスタマイズ開発、導入支援および自社開発したソフトウェアのライセンス販売)

# 働く人のためのプラットフォームとクラウドアプリでビジネスを変革

## グローバルウェイ社長 各務正人



**キャリアコネとボクサーの2本柱で過去最高益達成**

今年新規上場した企業の中で、公開価格2960円に対し、4.7倍となる1万4千円で初値を付けたグローバルウェイ。初値騰落率373.0%と10月17日時点でナンバーワンとなっている。これまでに上場した58社中、公募価格を上回った銘柄47社、同値だった銘柄1社、下回った銘柄10社だが、騰落率で300%超えはこの1社のみ。

同社は働く人のための情報プラットフォーム「キャリアコネ」の

運営と、法人向けクラウド型業務アプリケーション「Voxel」(ボクサー)を提供する。前者は社員や元社員が自分の会社についての口コミを投稿・シェア。

給与明細、働く環境、面接など「口コミ」、「ニュース」、「転職」の3本柱のサービスで、2016年度ユニークユーザー数は4200万。後者はセールスフォー

人と人のつながりでオープンにされていますが、日本はまだ閉鎖的。入社後にこんなはずじゃなかったという例も少なくないので、企業側と求職者の情報格

差を埋めるために始めました。利用者数は100万人、契約企業数1100社になりました。企業情報のビッグデータとして、個人のみならず企業側からも制度改革の参考にしたいなどの要望をいただいています。今後は衣食住や恋愛、結婚、お金に関する分野でもデータベースを構築し、シェアリングエコノミーやCtoC向けサービス展開を考えています」

Voxelは、異なるシステムや組織の垣根を越えてコラボレーションできるアプリケーションがコンセプト。顧客の9割が大手企業で、商談管理や販売管理、業務分析などさまざまなシーンで利用されているという。

今後、注力する事業ではASAN、特にミャンマーでのインターネット事業を支援する「グローバルウェイ・ベンチャー

ス・ドットコム、アマゾンと提携し、クラウド型システムの導入支援とそれらのクラウドプラットフォームで稼働する自社製ソフトウェアをライセンス販売する。16年3月期売上高は11億8000万円(前年同期比25.7%増、経常利益2億1000万円(同165%増)と共に過去最高を更新した。

「父と祖父が共に創業社長だったので、私も幼少期から将来は起業しようと考えていました。出身は岐阜県土岐市で美濃焼の街。古い産業の街なので可能性が見つけられず、地元を出て自分で新たな仕事を探しました。その後、米国ワシントン大学に留学し、IT産業に可能性を見出しました。ただお金も経験もないので、UBS証券、ドイツ銀行でシステムアナリストやデリバティブトレーダーとして在籍

ズ」を始めている。起業経験やノウハウを現地起業家に伝え、100億円規模の事業投資、戦略的提携を10年の計画で行う予定だ。注力領域はフィンテック、ソーシャルメディア、シェアリングエコノミー、クラウドで、3年で時価総額1千億円を通過点とし、6年で同3千億円規模を目指すとしている。

「ミャンマーは人口5千万人を超え、治安も安定しています。軍政が解かれたことで海外からも優秀な人材が戻ってきており、若い起業家も多く、ポテンシャルが高い国です。ミャンマーにはIT王国の米国資本がまだ入ってきていないので、当社にもチャンスがある。新しい事業に投資し、データベースを生かした買取戦略も駆使して、大きな成長を目指しています」と各務社長の夢は広がる。